

# 平成27年度 一般入試合否判定基準

八重山商工高等学校全日制

## 1 一般入試の募集定員

各科・コースの募集定員は、定員から推薦合格者数を引いた数とする。

## 2 選抜の方法

- (1) 選抜は、調査書、学力検査等の成績及び面接の結果を基にして、総合的に行う。
- (2) 調査書と学力検査等の成績との比重は5対5とする。

## 3 各圏の設定の仕方

A圏：内申点、学力検査点に基づいて募集人員（推薦合格人員を除く）の80%程度の人数が含まれるように範囲を設定してA圏とする。

B圏：応募者数が学科とも募集人員の110%程度からA圏を除いたものをB圏とする。

C圏：A圏とB圏を除いたものをC圏とする。

## 4 判定方法

(ア) A圏の中で下記の条件1の(a)、(b)、(c)、(d)、(e)のいずれかに該当するもの以外は合格者とする。ただし、第二志望の者は、B圏として扱う。

(イ) B圏の者に(ア)で保留になった者を含めて条件2の(a)、(b)、(c)、(d)により総合的に判断し、合格者を決定する。

### 条件1

- (a) 行動等の記録が著しく悪い者
- (b) 正当な理由がなくて、出欠の記録が著しく悪い者  
(遅刻、無届欠席、無届欠課のいずれかが各学年5回以上)
- (c) 各学年の評定に「1」がある者
- (d) 学力点に「10点未満」の科目がある者、または学力点の合計が「100点未満」の者
- (e) 面接評価がCの者

### 条件2

- (a) 観点別学習状況が良い者
- (b) 学力検査点が高い者
- (c) 内申点が高い者
- (d) 行動等の記録が良い者